

コムワンだより

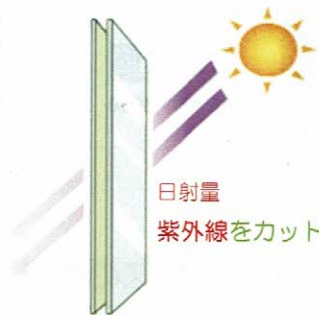
No.63

夏の防災

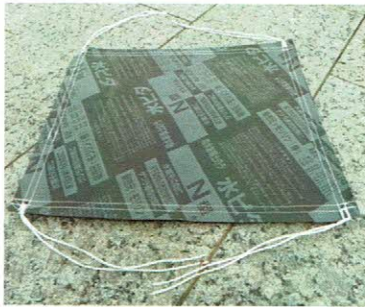
例年と比べて梅雨入りが遅い今年は、梅雨時の降水量が平年より多く、大雨に注意が必要のようです。また、“台風”“ゲリラ豪雨”のピークを迎える7月から9月は特に被害を受けやすい時期です。深刻な被害にあわないために、万全な対策を取っておきましょう。

1.飛散防止フィルム

台風や竜巻等の災害では、飛来物や強風等で割れたガラスが突然身近な凶器となります。破片が直接当たる、避難の際に飛散したガラスを踏んで負傷するという様な二次的な被害を防ぐため、飛散防止フィルム貼付をご検討されてはいかがでしょうか。種類によっては紫外線をブロックし、紫外線による家具やカーテンの色褪せを抑制する効果をもつ商品もあります。



2.緊急簡易土嚢



緊急簡易土嚢は土を使用せず、水に浸すと上図のように数十倍の体積まで膨らむタイプの土嚢です。

《緊急簡易土嚢の特徴》

軽くて薄いので、収納場所に困らず、女性や高齢者でも容易に設置することが可能です。使用後は天日干しや脱水剤等の使用により元の薄さに戻すことができますので、比較的簡単に処分することができます。

3.機械式駐車場のピット内清掃

地下ピットに格納されるタイプの機械式駐車場では、大雨が降った場合、地下ピットが冠水してしまう可能性があります。ピットに流入する雨水等はピット内に設置されているポンプで外部に排水されます。

しかし、ポンプが設置されている所(釜場)には泥や枯れ葉等が溜まりやすく、ポンプの作動の障害となる場合があります、ポンプが動かなくなってしまうと、下段の車が水没してしまう恐れがあります。

そのため、特に大雨や台風の時期が到来する前には「ピット清掃」「釜場清掃」「排水ポンプ作動確認・交換」の実施をお勧めいたします。

【釜場の清掃前と清掃後】



清掃前



清掃後

※緊急簡易土嚢のご購入、駐車場ピットや釜場の清掃をご検討の際は、弊社営業担当者へご相談ください。

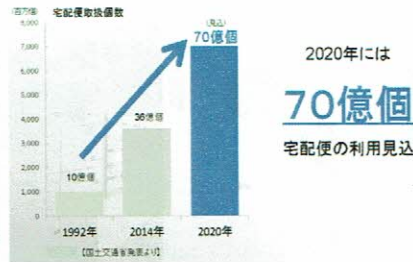
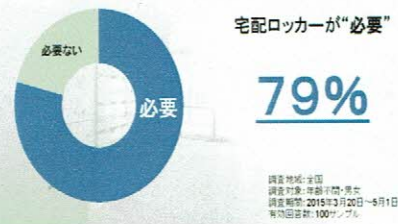


CommunityOne

宅配ボックス

インターネット通販の普及に伴って、宅配便の利用が年々増えている一方で、受取人の不在により荷物を受け取れず、再配達となるケースが多くなっています。調査によれば、再配達率は約 20% (5 人に 1 人) となっており、今後、不在の場合でも荷物が受け取れる「宅配ボックス」の需要が高まっていくものと思われます。

宅配ロッカーは必要だと思いますか？



メリット：

- ① 24 時間荷物を受け取ることが可能です。
- ② マンションの防犯対策になり、資産価値の向上を見込めます。宅配ボックスを設置することにより、部外者がマンション内へ侵入することが減り、住環境の安全性向上にもつながります。
- ③ 宅配ボックスの仕様によっては有用なサービスを付加する（クリーニング宅配等）ことが可能です。

宅配ボックスの仕様

1. 機械式：

特徴：ダイヤル式のボックスで、荷物を入れる際に配達員が数字の暗証番号を設定します。

長所：① 電気を使わないため、電気代がかかりません。

- ② 配線工事も不要で、比較的簡単に設置することができます。
- ③ 電気関連の故障やメンテナンスなどに掛かる諸経費も不要です。

2. 電気式（電気制御式）：

特徴：① コンピューター制御につき、暗証番号設定などの手間が不要です。

② タッチパネルで操作するため、簡単に使うことができ、セキュリティ性も比較的高いです。

③ 機種によっては、受領書を内蔵プリンタで発行する機能や、荷物が届いた際にメールで通知するサービスが付加されています。

I. 自主管理式：受取人は自分で滞留荷物がないかどうかをチェックする必要があります。

II. オンライン管理式：メーカー等が遠隔管理しており、状況により、トラブル発生時に遠隔操作で解決することもできます。また、その他のサービスを付加できる機種もあります。



宅配ボックスの種類

I. メールボックス一体型宅配ボックス(図 1.)

郵便受けと宅配ボックスの一体型です。エントランススペースの有効活用が可能で、限りなくフラットにデザインされた扉は、壁と一体化して見えるため、マンションの美観を損ないません。

II. スタンドアロン型宅配ロッカー(図 2.)

ネットワークなどにはつながっていない、不在時の宅配便受け取り機能に特化したシンプルタイプの宅配ロッカーです。

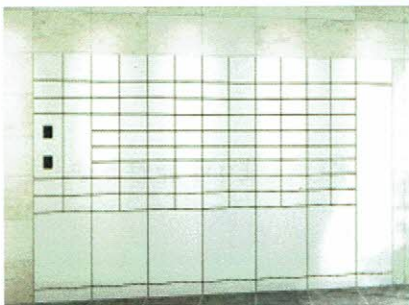


図 1.



図 2.

設置スペース



設置の際は消防法や火災予防条例等の規定で、避難経路の妨げにならない様に通路の幅を1.2m 確保しなければなりません。幾つかのサイズのボックスがあり、ある程度、自由に組み合わせることができますので、スペースに合わせて設置することもできます。

